

2020年度第2回 スキルアップミーティング

(2020年12月18日開催)

報告

SA協議会SA部会

2020-12-

**関東WG; 藤井、吉川、青野、塩見、渡辺
井上、山岸、藍原、大賀
事務局; 外山**

スキルアップミーティング(以後,SUM)報告項目

1. 開催計画(関東WGメンバーにて計画運営を実施)
 2. SUM参加者
 3. 当日の内容報告
 4. 参加者アンケート結果
- * 講演資料は別PDFファイルを参照
(ファイルは、会員専用ページ「スキルアップミーティング」を参照)

1. SUM開催計画

開催概要【東京会場】

- SUMテーマ「コロナウイルス環境での生産活動と安全確保」
- 開催日時：2020年(令和2年)12月18日(金) 14時30分～17時00分
- 開催内容：講演とディスカッション
- 開催場所：ZOOMウエビナ
- 定員：400名様 ●参加費：無料
- 申込締切日：2020年12月4日←11月26日案内スタート

【プログラム】

受付:14:00 ZOOMウエビナオープン

開会:14:30

終了:17:00

【開催内容】

・開会

・講演1

向殿 政男 明治大学名誉教授

タイトル「with 新型コロナ環境の生産性と安全性の関係と管理対策について」

・講演2

労働安全衛生総合研究所 北條上席研究員

「“産業安全行動分析学”の原理に基づく、新たな生活習慣、
有益な生産活動のために」

・ディスカッション

講演への質疑応答

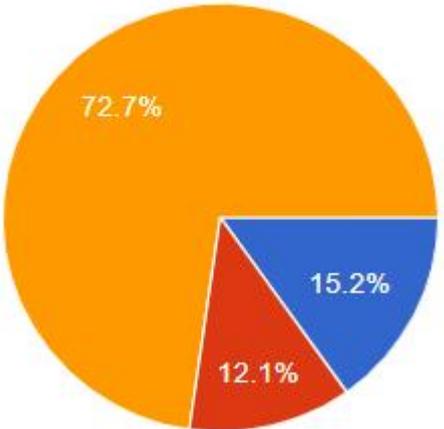
2. 参加者結果

参加希望者

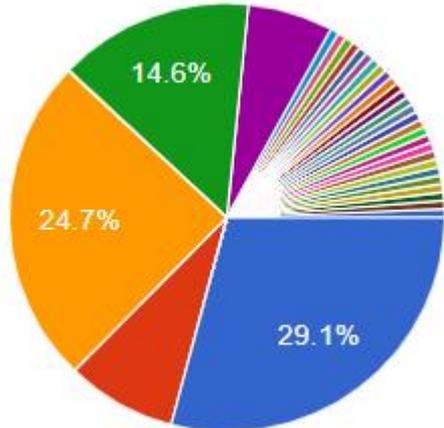
東京 390名 (WG含め)

当日参加者

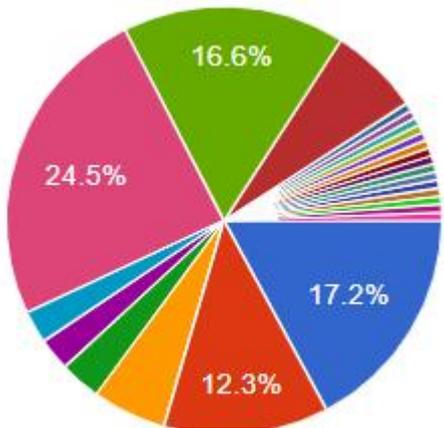
東京 291名



- 100人未満
- 100人～299人
- 300人以上



- 機械メーカー = 製品として機械を製造...
- インテグレータ = 機械を統合してラ...
- 機械ユーザー = 設備として機械を使用...
- 制御機器メーカー = 制御機器を製品と...
- 商社
- ITシステムインテグレータ (製造業対...



- メカ設計
- 電気設計
- 制御設計
- 仕様発注
- 据付、保守サービス (機械メーカーと...
- オペレータ、保全 (機械ユーザーとし...
- 品質保証、環境安全、設備防災
- 営業、技術サポート
- 研究開発

3. 内容報告

【プログラム】 14:00～16:50 司会;藤井氏(関東WGリーダー)

0. ZOOMオープン(受講者のウェビナ参加と音声確認)

司会開催挨拶

1. 講演1

向殿 政男 明治大学名誉教授(SA協議会会長)

タイトル「with 新型コロナ環境の生産性と安全性の関係と管理対策について」

2. 講演2

労働安全衛生総合研究所 北條上席研究員

「“産業安全行動分析学”の原理に基づく、新たな生活習慣、
有益な生産活動のために」

3. ディスカッション 進行;藤井氏

講演1, 2の進化のための質疑応答(チャット記述の項目)

司会;藤井氏

4. 閉会

アンケートの協力



3. 内容報告

1. 講演1

向殿 政男 明治大学名誉教授(SA協議会会長)

「with 新型コロナ環境の生産性と安全性の関係と管理対策について」

●ご講演 以下のポイントのプレゼンがあった。

- ・新型コロナについて考える
- ・安全学の視点からコロナ問題を考える
- ・感染拡大を制御する手法とレベル
- ・コロナ汚染拡大防止策と社会経済活動の両立
- ・ものづくり現場におけるコロナの影響
- ・おわりに

(講演資料は、SA協議会SA部会会員ページに掲示予定)

2020-12-18 SA協議会東京スキルアップミーティング

**with 新型コロナ環境の
生産性と安全性
の関係と管理対策について**
～安全学からの視点～

向殿政男
(一社) セーフティグローバル推進機構 会長
(公財) 鉄道総合技術研究所 会長
明治大学 名誉教授

52:08

6

3. 内容報告

2. 講演2

労働安全衛生総合研究所 北條上席研究員

「“産業安全行動分析学”の原理に基づく、新たな生活習慣、
有益な生産活動のために」

●ご講演 以下のポイントのプレゼンがあった。

(講演資料は、SA協議会SA部会
会員ページに掲載予定)

- ・行動分析学とは
- ・行動分析学の原理
- ・行動とは
- ・コロナと安全
- ・産業安全行動分析学による課題産業安全行動分析学による課題分析
- ・現在のコロナ対策
- ・行動を変える → 環境を変える
- ・行動を維持するために: 習慣化、般化を目指す
- ・最低値の設定を！ 対策行動には報酬を！



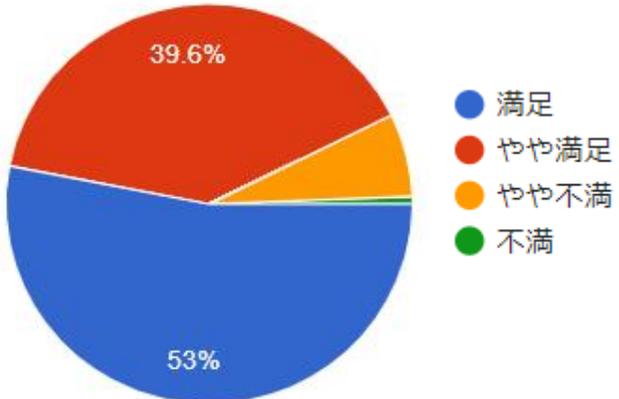
3. 内容報告

3. ディスカッション

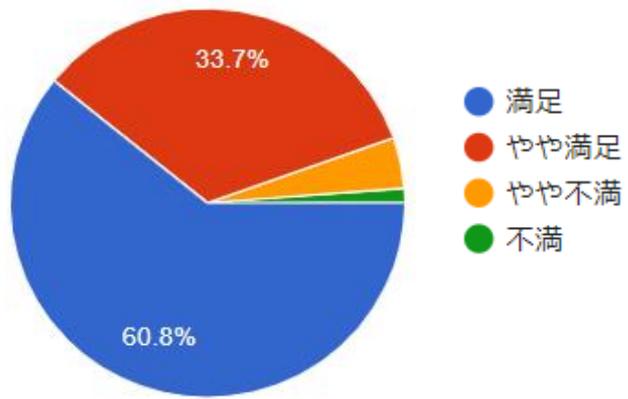
テーマ	想定するディスカッションの内容
機械安全の危険源としてのコロナについて	機械安全におけるリスクの危険源として、ISO12100では挟まれや放射への暴露のような危険源がいくつかリストアップされていると思いますが、コロナウイルスへの感染リスクはその1つとして捉え、今後の機械設計で考慮すべきものでしょうか。その場合、どのような設計手法へ反映することが考えられますか。
コロナへの感染防止対策で発生する新たな危険源	ニューノーマルの行動様式としてマスクの着用やリモートワーク、機械の遠隔操作などが想定されますが、これらにより新たな危険源の発生はあるでしょうか。そしてそのリスクはどのようなアプローチで低減するのが妥当でしょうか。
コロナウイルス感染を危険源とした場合のリスクの定量評価方法について	コロナウイルスの感染に関しては感染した場合の個人差もありリスクの定量評価が難しく、さらに属人的に人の主観により増減するものと考えられます。リスクアセスメントにおける危険源として評価する場合、どのような考え方でとらえたら良いと思われませんか。
「慣れ」のリスクについて	東京都では過去最高の感染者数が更新されたとのことですが、一方で年末になり忘年会のようなことをされていたり、相変わらず電車は満員だったりして世間では緊張感が薄れてきているように思います。人間の慣れというのはリスクとして捉えられないでしょうか。



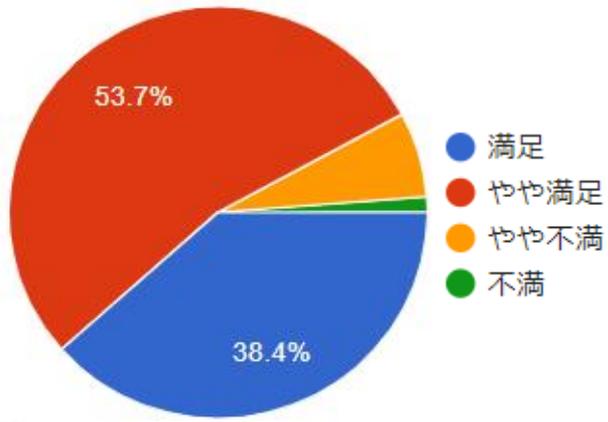
① 本日の講演1についての感想は



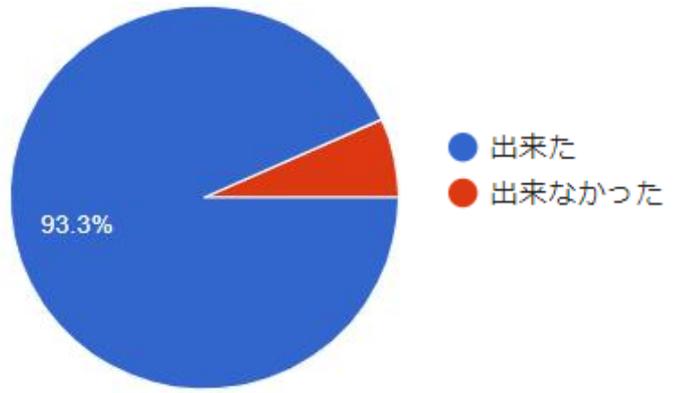
② 本日の講演2についての感想は



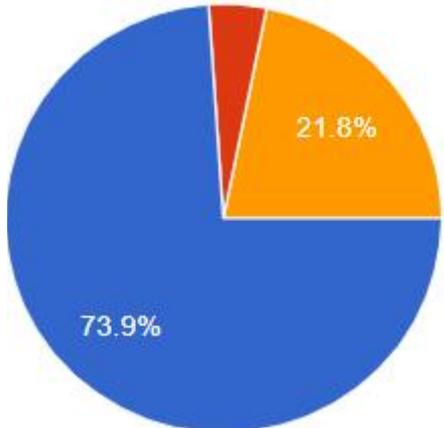
③ ディスカッションについて



④ 参加してスキルアップできましたか?

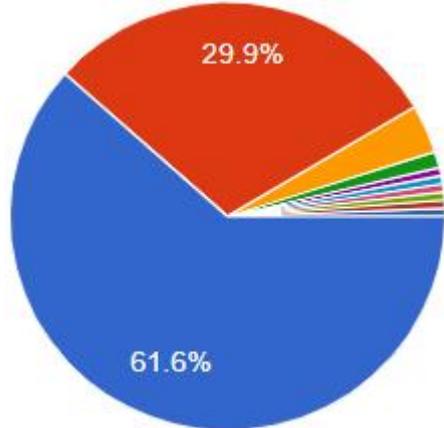


⑤ SUMのWEB開催について



- WEBかいさいの方が良い
- 対面開催の方が良い
- どちらでもよい

⑥ WEB開催のツールは何が良いですか



- Z O O M
- t e s m s
- W E B E X
- M E E T
- 何でも
- ZOOM/TEAMSのどちらでも(複数選...
- メジャーなものであれば特に問わない
- 社内ルール的にはTeamsを希望するが...

1. WEB開催について

- ・今回は、コロナウイルスの影響により、初のWEB(ZOOMウエビナ)を利用した開催となった。
- ・今回は、WEBということで地域性も考慮不要のため1週間で多くの参加申し込みがあり、364名の申し込みがあった。

当日の参加は、291名(WEB参加者)で申し込みとの差があったが、参加者の中には、企業内会議室での複数名で参加されており300名以上の方が参加したと思われる。

- ・受講者への会議招待メールにてWEB参加アクセスURLを提示したが、参加できない方が10名弱居られた。WG担当にてのフォローで参加が可能となり大きな問題にはならなかったが、次回課題。
- ・主催側として事前に必要な設備があることが分かった。(受講者側でどのように見えているかの確認用PC機器の準備+講演する部屋の環境-補助者の声、ハウリングの防止等ができる環境と機器-マイクとイヤホン等)

2. 企画内容について

- ・今回のSUMは、「コロナウイルス環境での生産活動と安全確保」とした。現況のコロナウイルス感染拡大下で、安全活動に寄与しているSA資格者にコロナ下での全体像とコロナに対する捉え方を示すことにした。

⇒アンケートから受講者の方から以下の意見が出ており、好評であった。今回の企画としては良かったと思われる。

- ①コロナを題材にしてもらい参考になった。
- ②安全を分野を横断的にとらえる必要性を感じた。等

3. 講演について

- ・講演1は、コロナもリスクであり、リスクアセスメントと低減方策の重要性について提言されたが、講演2は、行動分析学と機械安全の観点から職場における安全対策について認識することができた。

アンケート通りに両講演とも多くの参加者の満足するものとなった。

4. ディスカッションについて

- ・講演者から「予め用意した質問事項＋チャットで寄せられた内容」に対して回答していただいた。
⇒チャットを質問に展開する時間が限られていたため、ほぼ事前準備の質問の内容となった。
- ・ZOOMウエビナの性格上、「チャット」による質疑応答となり、Q & Aのリアルさが出ず、過去の対面式のミーティングとの差が出た。今後の課題として検討する。

5. その他

- ・WEB開催に関する点：視聴者の一部から通信が途切れるとの声があった。検討の一つに無線より有線を使用することを検討要。
- ・テーマと開催形態について：今後も時期にあったテーマ／新安全技術／RAのスキルアップのための実践的なテーマ等を選定して開催を検討する。また、スキルアップミーティングは、受講者のアンケートから開催要望が強く継続して企画していきたい。ただし、会議形態は、対面式かWEB開催かは、社会の状況によって判断する。